

算数 評価規準【1年】

単元名		なかまづくりと かず
単元の目標		10 までの数について、個数の比べ方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数のまとまりに着目して数の大きさの比べ方や数え方を考える力及び数の構成に着目して数を多面的に捉える力を養うとともに、数に親しみ、数で表すこと及び比べることのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	10 までの数について、1 対 1 対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、集合の要素の個数を比べたり、数を正しく数え数字を読んだり書いたり、数の合成、分解をしたりしている。
	思考・判断・表現	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目し、一つの数をほかの 2 つの数の和や差として捉え言葉や半具体物などを用いて表現したりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	数の比べ方や数え方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		なんばんめ
単元の目標		数を用いた順序の表し方を理解し、基点に着目して順序を考える力を養うとともに、数を用いて順序を表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表している。
	思考・判断・表現	数を順序や位置を表すものとしてみて、基点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。
	主体的に学習に 取り組む態度	数を用いて順序や位置を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		あわせて いくつ ふえると いくつ
単元の目標		加法の意味と和が 10 以内の加法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して加法の意味や加法計算の仕方を考える力を養うとともに、加法の意味や加法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	合併や増加など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解し、和が 10 以内の加法計算をしている。
	思考・判断・表現	加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方を 1 位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	加法の意味や加法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		のこりは いくつ ちがいは いくつ
単元の目標		減法の意味と被減数が 10 以内の減法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して減法の意味や減法計算の仕方を考える力を養うとともに、減法の意味や減法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	求残や求補、求差など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解し、被減数が 10 以内の減法計算をしている。
	思考・判断・表現	減法の意味に着目し、求残や求補、求差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	減法の意味や減法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		どちらが ながい
単元の目標		長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの長さについて任意単位などにより比較する力を養うとともに、長さについての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長さについての基礎的な意味や、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、長さを比べている。
	思考・判断・表現	身の回りにあるものの長さに着目して、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの長さに関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		わかりやすく せいりしよう
単元の目標		ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を理解し、データの個数を簡単な絵や図に表し、それらの特徴を読み取る力を養うとともに、簡単な絵や図を用いてデータの個数を表したり、捉えたりしたことを振り返り、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりしている。
	思考・判断・表現	データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		10 より おおきい かず
単元の目標		40 までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10 をひとまとまりにして数の数え方などを考える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	40 までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40 までの数を数え数字を読んだり書いたり、20 までの数の構成を加法や減法の式に表している。
	思考・判断・表現	10 のまとまりに着目し、40 までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20 までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		なんじ なんじはん
単元の目標		何時、何時半の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりしている。
	思考・判断・表現	短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		3つの かずの けいさん
単元の目標		3つの数の加減計算の仕方を理解し、3つの数の加減計算の仕方を操作や式を用いて考える力を養うとともに、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	3つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算をしている。
	思考・判断・表現	2つの数の加法や減法を基にして、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	3つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		どちらが おおい
単元の目標		体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるもの体積について任意単位などにより比較する力を養うとともに、体積についての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	体積についての基礎的な意味や、保存性、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、体積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りに入る入れ物に入る水の体積を比べている。
	思考・判断・表現	身の回りに入る入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りに入る入れ物に入る水の体積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		たしざん
単元の目標		1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算をしている。
	思考・判断・表現	10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		かたちあそび
単元の目標		身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能を捉え、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。
	思考・判断・表現	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		ひきざん
単元の目標		11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10 といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算をしている。
	思考・判断・表現	数の構成に着目し、11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10 といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		おおきい かず
単元の目標		2 位数や簡単な 3 位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10 を単位として数を捉える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	2 位数や簡単な 3 位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120 程度までの数を数え数字を読んだり書いたり、2 位数の数の構成を加法や減法の式に表している。
	思考・判断・表現	既習の数の表し方の仕組みを基に、120 程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の 2 位数の加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。

	主体的に学習に取り組む態度	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
--	---------------	--

単元名		どちらが ひろい
単元の目標		面積の比較などの活動を通して、面積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの面積について任意単位などにより比較する力を養うとともに、面積についての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	面積についての基礎的な意味や比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や任意単位による測定などによって、身の回りにあるものの面積を比べている。
	思考・判断・表現	身の回りにあるものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの面積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		なんじなんぶん
単元の目標		何時何分の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりしている。
	思考・判断・表現	短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		たしざんと ひきざん
単元の目標		順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、数量の関係を図に表し計算の意味を考える力を養うとともに、加減の意味を図に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決している。
	思考・判断・表現	数量の關係に着目し、順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名		かたちづくり
単元の目標		身の回りにあるものの形について、基本的な平面図形の特徴を捉え、平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、平面図形の形に着目して特徴を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身の回りにあるものの形について、その概形や特徴を捉え、中空のものも中実のものと同じように見られることを理解し、色板や棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりしている。
	思考・判断・表現	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴を捉えたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの形について、形の特徴を捉えたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。